

# 1. 国際耕種株式会社とは

- 1984年の会社創立以来、発展途上国において、持続的農業開発、森林保全、乾燥地緑化に取り組んできた。



## 2. つくば市内での取り組み

- JICA筑波センターでの、海外研修員を対象にした、農業技術研修に2001年から携わっており、「ちびっこ博士」「一般公開」などのイベントで、市民向けの農業・国際理解講座を実施してきた。
- 2020年8月にはつくばR8地域活性化プランコンペティション2020の地域ぐるみ活動創生コースに「ふるさと菜園s事業」を提案し、採択された。



# 3. コロナ禍での対応

- 社員へのテレワークの推奨と社屋内の分散勤務
- 社内外や、海外現地スタッフとの遠隔Webミーティング
- Webセミナーの実施（森のコーヒー勉強会講演、野菜育種概論/野菜生産計画/灌水技術の講義、大学の学部生向けの受託講義など）
- 農家向け接触低減型研修の体制及び教材の開発（ウガンダ国北部生計向上支援プロジェクト）
- 農業普及員向け Web-Based-Trainingの実施体制構築／COVID-19の現地農家への影響にかかるクエスチョニア調査（バロチスタン州農業普及員能力向上プロジェクト）



## 4. 現在の課題等

- 新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮したうえで、つくばR8地域活性化プラン「ふるさと菜園s事業」の実施。
- 海外への渡航制限とリモートによる海外プロジェクト運営の限界。
- JICA研修事業における講師・見学先の確保。



# 5. 他会員との連携希望

- 専門家、一般、こども向けの環境保全・農業・国際理解に係るセミナー・講演・イベントを承ります（オンライン・英語対応可）。
- つくばR8地域活性化事業「ふるさと菜園s事業」の実施・運営において、つくば市内の団体との協働を進めます（つくば市HPにプランの詳細あり）。
- 環境保全・農業分野で持続可能な街づくりに貢献したいと考えている方、これらの分野で国内外の事業に興味のある方からの協働を模索しています。

国際耕種が大切にして  
いる3つの視点：

- 0 1 現場からの発想
- 0 2 対話と協働
- 0 3 連携の促進

